

北陸新幹線開業に伴う 北陸観光に関する調査結果

目次

調査の概要	P1
1. 北陸新幹線開業に伴う北陸観光への高まり	P2
2. 北陸新幹線開業に伴う北陸観光の計画	P3
3. 北陸3県への観光経験と観光で行きたい北陸の県	P4
4. 最も観光で行きたいと思う県の魅力点	P5
5. 自由回答から見る、最も観光で行きたいと思う県の魅力点	P7
6. 北陸観光に行く場合の交通手段	P8
7. 北陸新幹線の利用意向	P9
8. 北陸新幹線のルートで、観光で下車したいと思う駅	P10
9. 出向いた事のある都内にある北陸3県のアンテナショップ	P11
■ 関連提案企画	P12

2015年

株式会社シーエヌエス

■調査の概要

1 ■調査目的

北陸新幹線開業に伴い、首都圏在住層が北陸観光にどのように意識しているのか等を
探る目的で実施した。

2 ■調査対象

首都圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）在住の20才から75才までの男女。

3 ■調査項目

1. 北陸新幹線開業で北陸への関心がどの程度高まったか
2. 関心を高めた情報（「関心が高まった」と回答した層）
3. 北陸新幹線開業に伴う北陸観光の計画
4. 今まで観光で行った事のある北陸の県／行きたい北陸の県／最も行きたい北陸の県
5. 最も行きたい県に魅力を感じる点／具体的魅力点＜自由回答＞
6. 北陸観光する場合の交通手段
7. 北陸新幹線の利用意向
8. 北陸新幹線の利用目的
9. 北陸新幹線のルートで観光で下車したいと思う駅
10. 出向いた事のある東京都内にある北陸三県のアンテナショップ

4 ■調査時期

北陸新幹線開業直後の、3月16日（月）～19日（金）

5 ■回収サンプルサイズ

1272サンプル

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	60	106	116	113	188	62	645
女性	98	106	111	121	151	40	627
計	138	212	227	234	339	102	1272

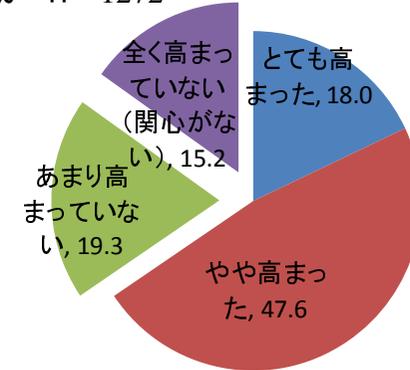
6 ■調査方法

WEBアンケート

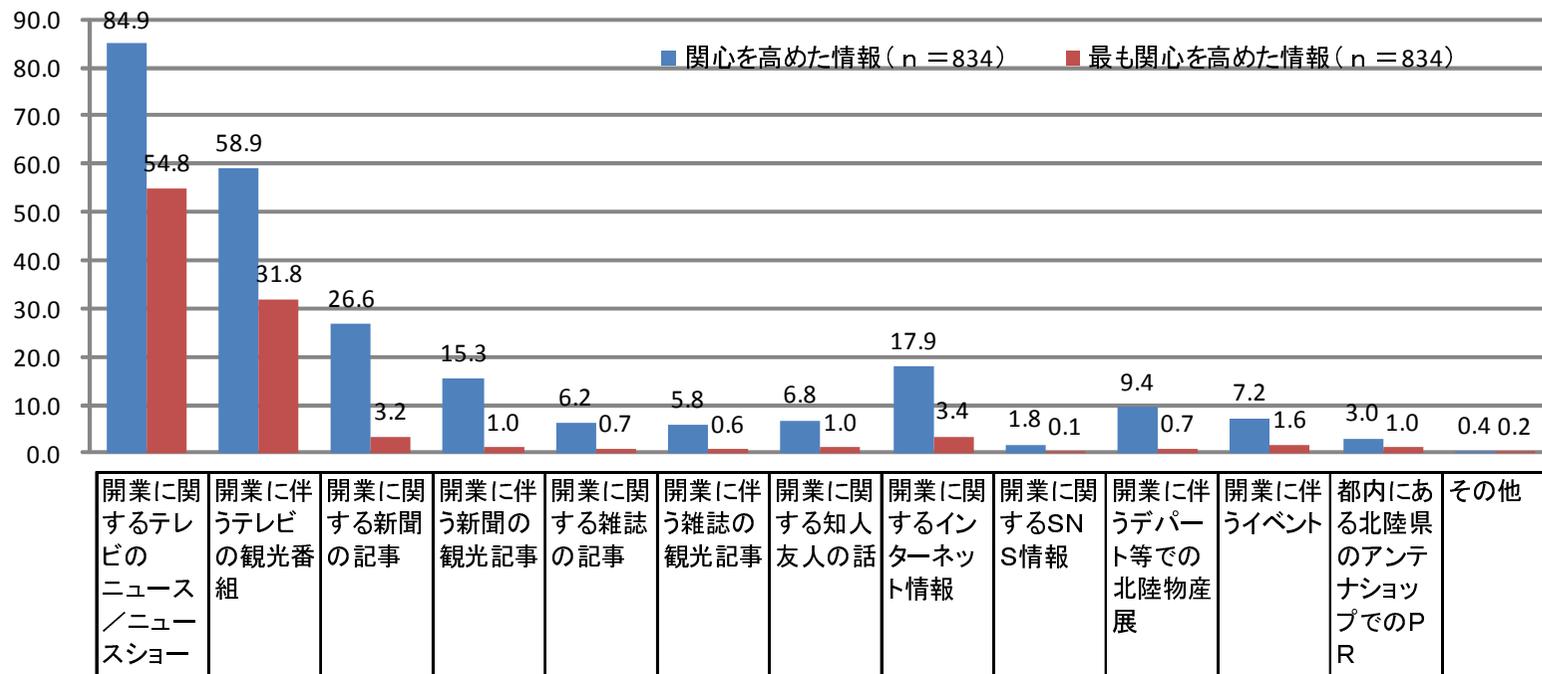
1. 北陸新幹線開業に伴う北陸観光への高まり

- 北陸新幹線の開業で北陸への関心が高まったとする割合は、「とても高まった」18.0%、「やや高まった」47.6%で、**およそ全体の66%である。**
- なお関心を高めた代表的情報は、「開業に関するテレビのニュース／ニュースショー」「開業に伴うテレビの観光番組」である。

■北陸新幹線開業で北陸への関心が高まったか n=1272

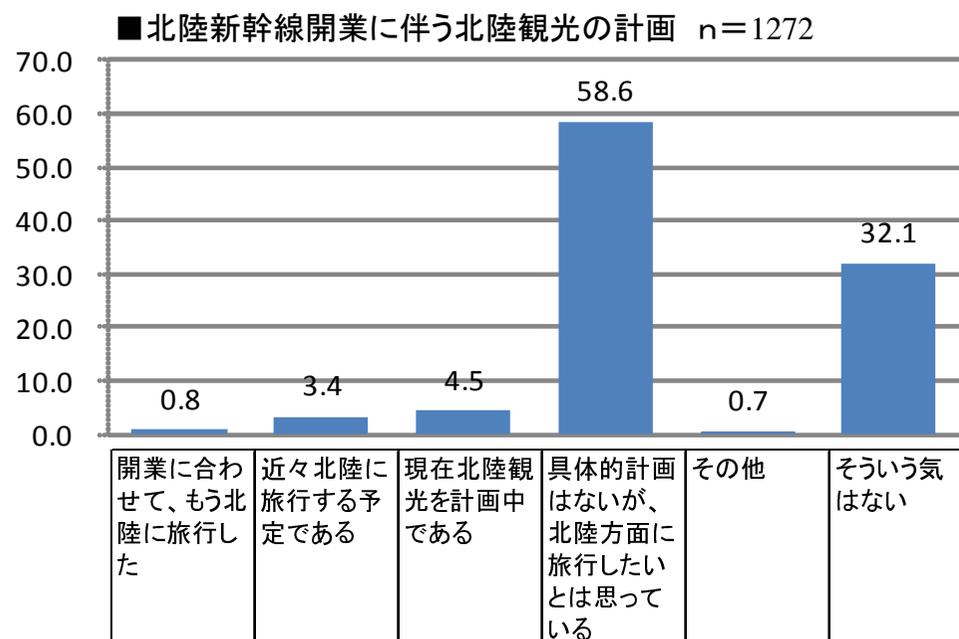


■北陸への関心を高めた情報(北陸への関心が高まったと回答した層)



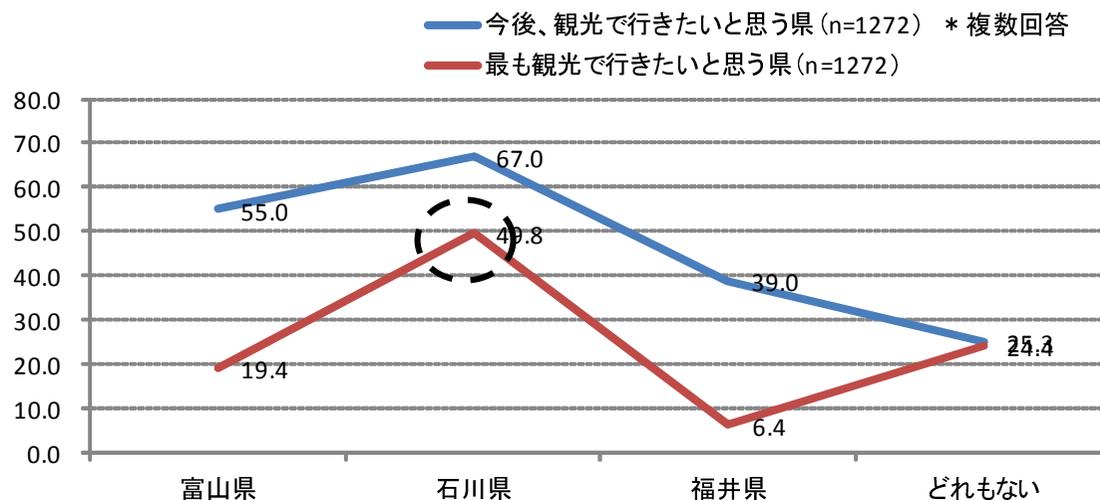
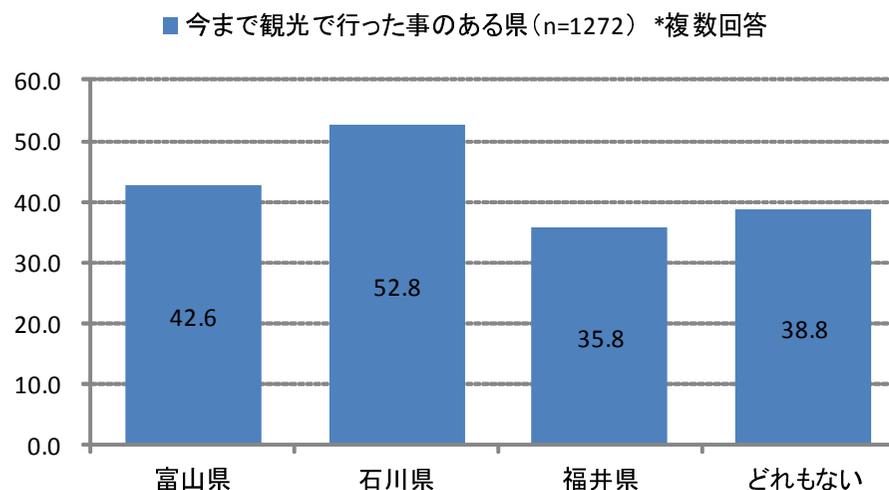
2. 北陸新幹線開業に伴う北陸観光の計画

- 北陸新幹線の開業に伴い北陸観光を計画している割合は、「近々北陸に関する予定である」3.4%、「現在北陸観光を計画中である」4.5%で、「開業に合わせてもう北陸に観光した」0.8%を含め8.7%と1割未満であるが、「具体的計画はないが、北陸方面に旅行したいとは思っている」が58.6%と6割近くおり、**北陸新幹線の開業が北陸観光を力強く後押ししている事を伺わせる結果となっている。**



3. 北陸3県への観光経験と観光で行きたい北陸の県

- 北陸3県に対する旅行経験の割合は、**1位「石川県」52.8%、2位「富山県」42.6%、3位「福井県」35.8%**で、「石川県」への旅行経験者が最も多い。なお北陸のどこにも旅行した事のない層も38.8%と、4割近く存在している。
- 今後観光で行きたいと思う北陸の県は、これも1位「石川県」、2位「富山県」3位「福井県」で、旅行経験の順位と変わらない。
- 最も観光で行きたい県になると、1位「石川県」49.8%、2位「富山県」19.4% 3位「福井県」6.4%で、その順位は同じながら、**「石川県」を挙げる割合が圧倒的に高くなる。**



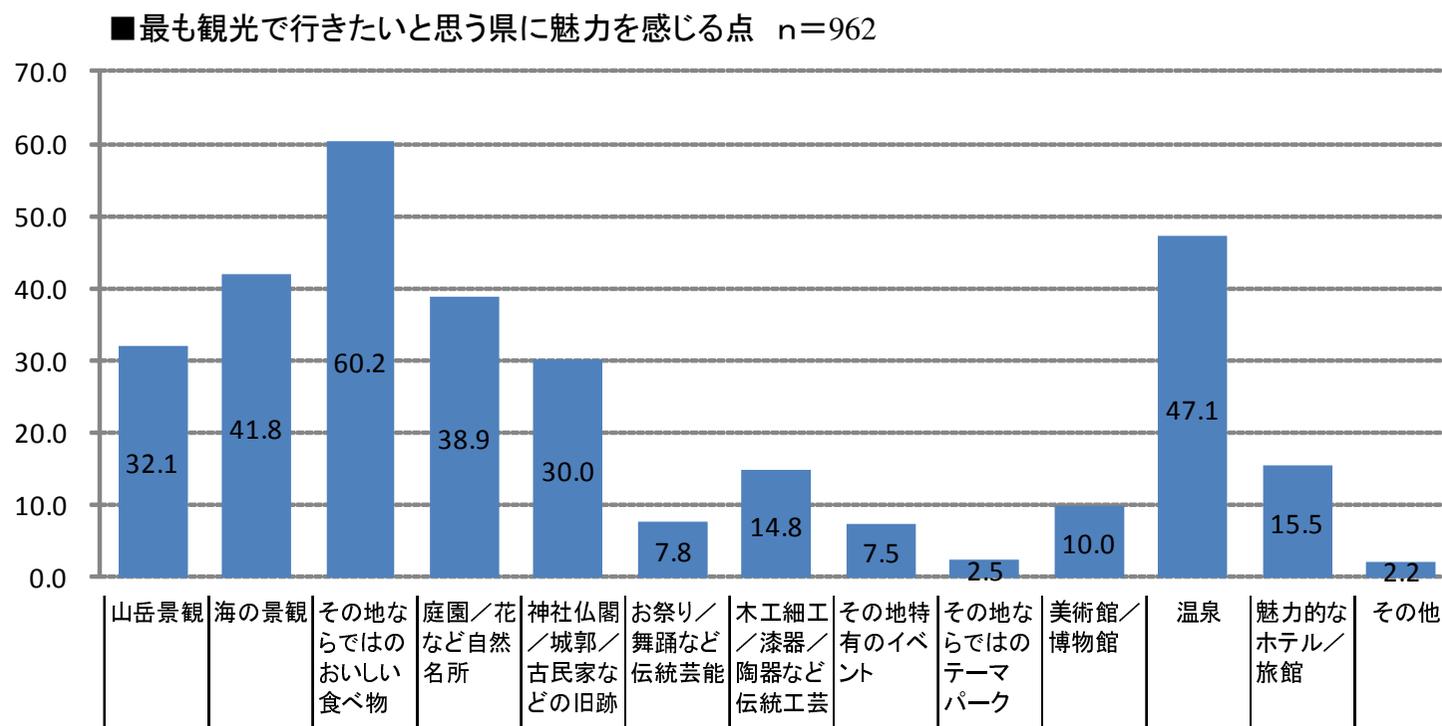
4. 最も観光で行きたいと思う県の魅力点 —複数回答—

1. 合計

- どのような点が魅力でその県を最も観光で行きたい県に挙げたかを聞くと、以下のような項目が上位項目に挙げられてくる。

1位「その地ならではのおいしい食べ物」60.2%、2位「温泉」47.1%、3位「海の景観」41.8%、4位「自然の名所」38.9%、5位「山岳景観」32.1%

即ち、「地の食べ物」が北陸観光の重要な素材である事を伺わせる結果となっている。



4. 最も観光で行きたいと思う県の魅力点 —複数回答—

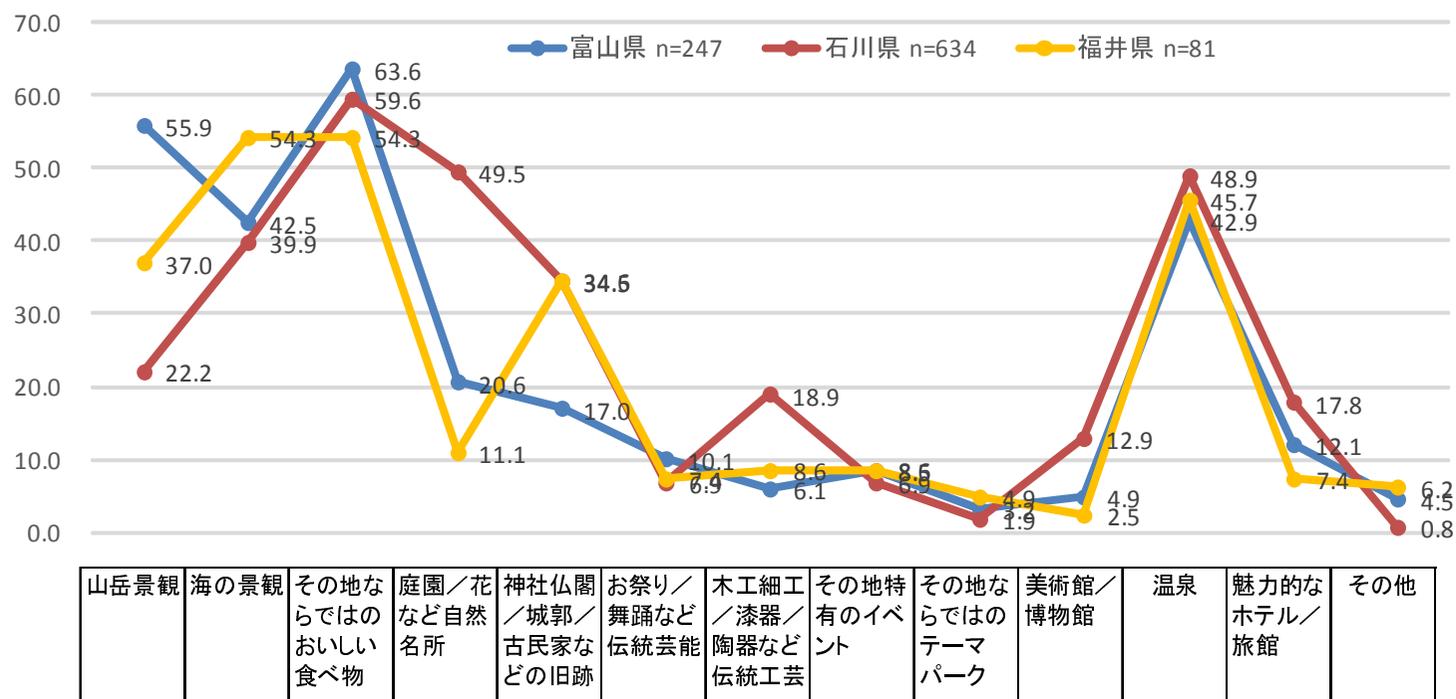
2. 県別

・自由回答の結果から県別の魅力点を見ると、およそ以下のような傾向が認められる。

富山県 ⇒ 他の2県に比べ「山岳景観」を挙げる割合が高い

石川県 ⇒ 他の2県に比べ「自然名所」「伝統工芸」を挙げる割合が高い

福井県 ⇒ 他の2県に比べ「海の景観」を挙げる割合が高い



5. 自由回答から見る、最も観光で行きたいと思う県の魅力点

要約

- ・北陸3県とも、「地の食べ物」「山・海」「歴史・文化」等が魅力点になっているが、地の食べ物の中では**海のさち**が共通した魅力点になっている。なお具体的に挙げられた魅力点を県別に整理してみると、およそ以下のような事が言える。

■**富山県** 大きく「山」そして「海の幸」が魅力。具体的に挙げられている魅力点は

- 「山」 ⇒ 立山、黒部溪谷、黒部ダム、五箇山、称名滝、室堂
- 「海の幸」 ⇒ ほたるいか、白えび、ぶり
- 「その他」 ⇒ 蟹気楼、チューリップ、温泉

■**石川県** 大きく「歴史」「文化」そして「おいしい物」が魅力。具体的に挙げられている魅力点は

- 「歴史」 ⇒ 兼六園、小京都、加賀百万石、町並
- 「文化」 ⇒ 茶道、漆器、陶器、伝統工芸、21世紀美術館
- 「おいしい物」 ⇒ お酒、ノドグロ、おでん、お寿司、和菓子、コロッケ、ラーメン
- 「その他」 ⇒ 加賀温泉郷

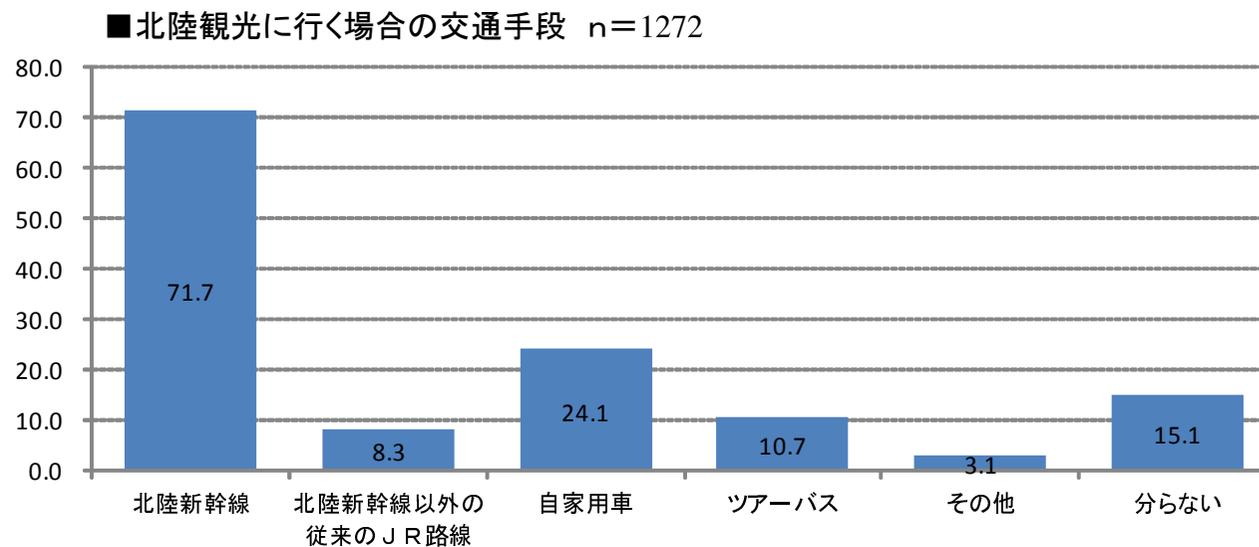
■**福井県** 大きく「神社・仏閣」「海」そして「海の幸」が魅力。具体的に挙げられている魅力点は

- 「神社・仏閣」 ⇒ 永平寺、福井城
- 「海の幸」 ⇒ かに
- 「その他」 ⇒ 東尋坊

* 具体的回答データは、別紙「自由回答編」を参照

6. 北陸観光に行く場合の交通手段 —複数回答—

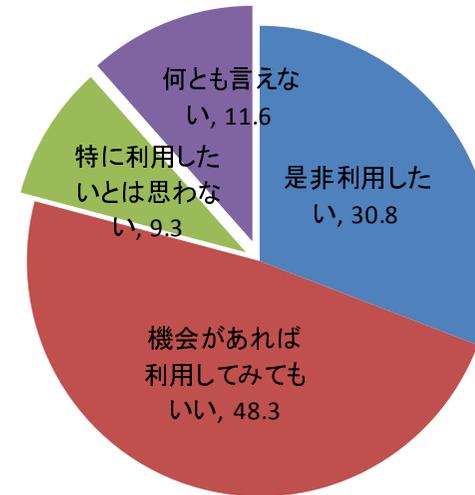
- 今後北陸観光する際の交通手段では、「北陸新幹線」を挙げる割合が71.7%と圧倒的に高く、次いで「自家用車」が24.1%で続くが、「北陸新幹線」が群を抜いて高いのは、開業直後という事もあるが、今後共北陸観光の主たる足になるであろう事は間違いなさそうである。



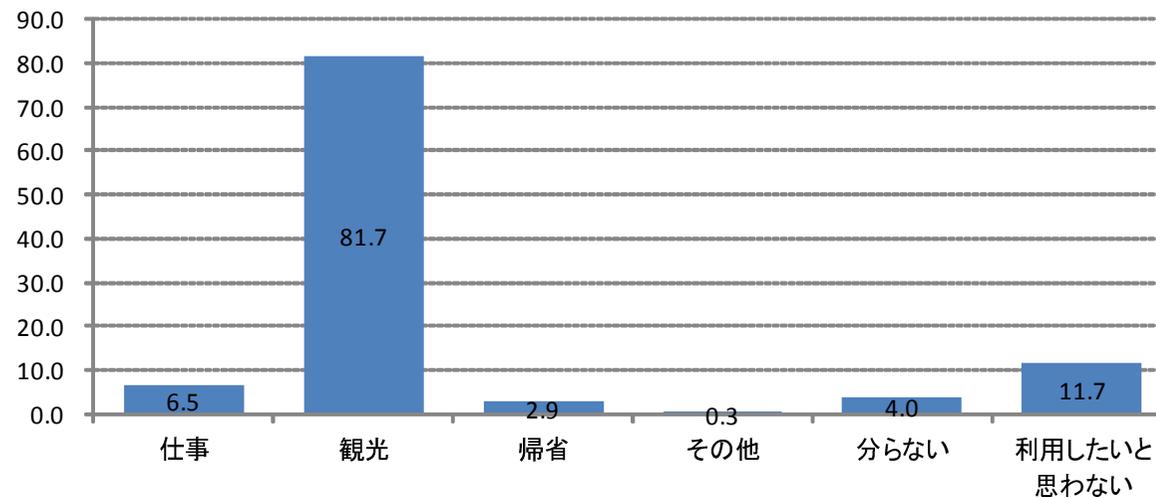
7. 北陸新幹線の利用意向

- **北陸新幹線を利用したいとする割合は、「是非利用したい」30.8%、「機会があれば利用してみてもいい」48.3%で、全体の79.1%と8割近い。**
- **なお北陸新幹線を利用する際の目的では、「観光」を挙げる割合が圧倒的に高く、81.7%を占める。**

■ 北陸新幹線の利用意向 n=1272

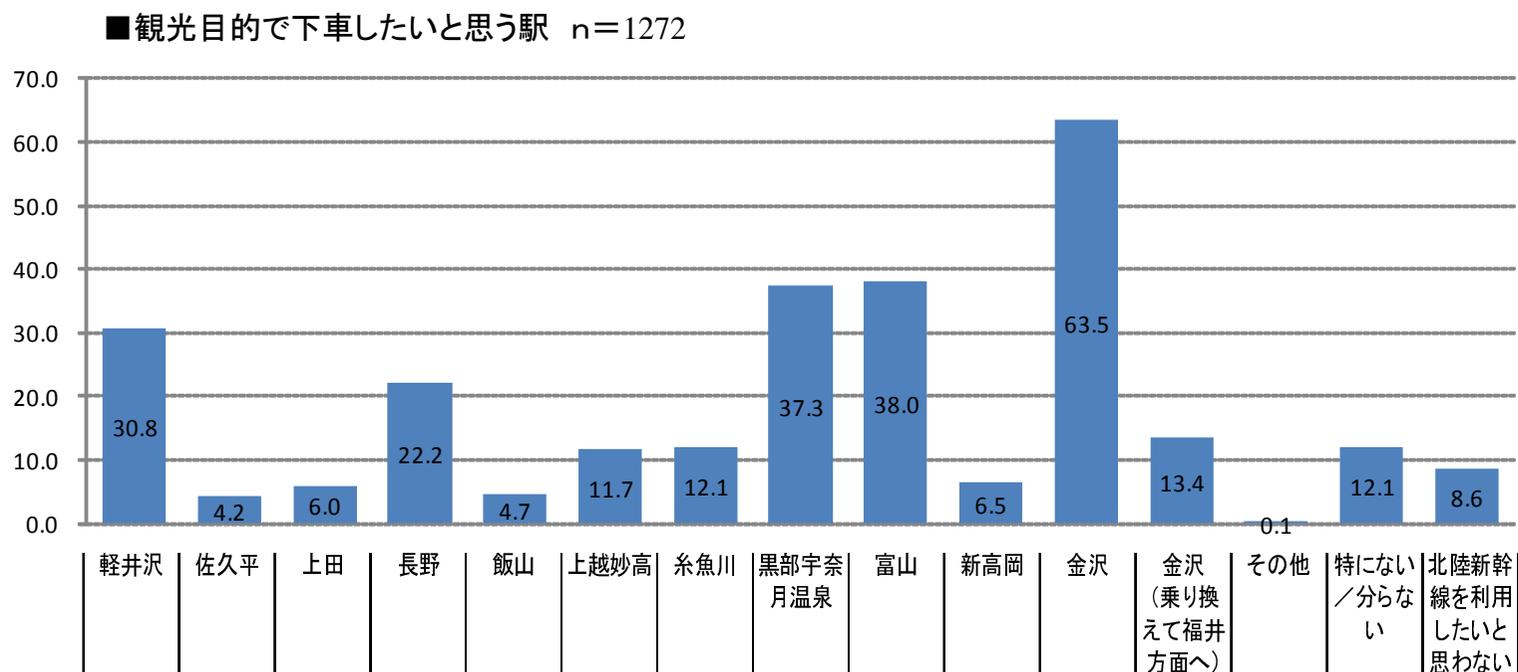


■ 北陸新幹線の利用目的 n=1272



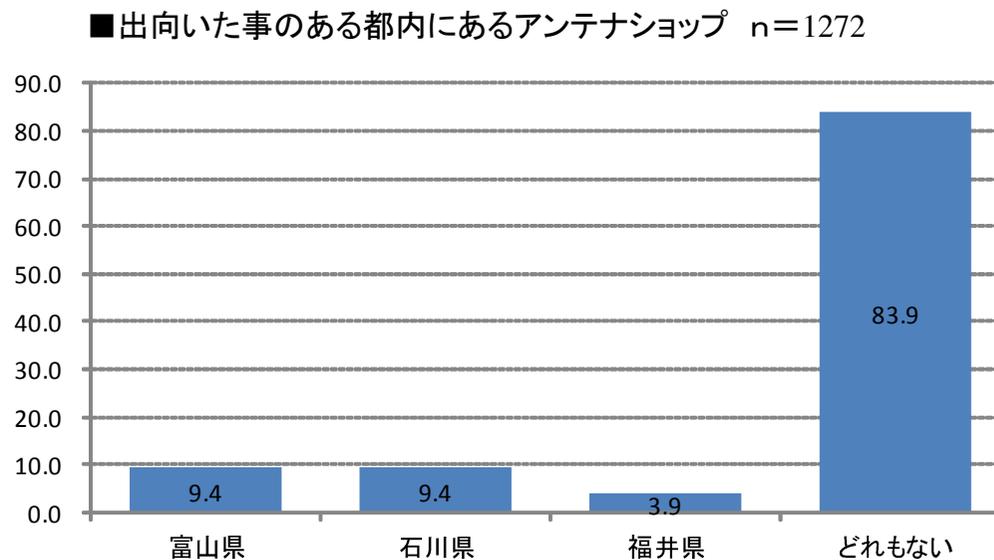
8. 北陸新幹線のルートで、観光で下車したいと思う駅 —複数回答—

- 観光で下車したいと思う北陸新幹線の上位駅は、
1位「金沢」63.5%、2位「富山」38.0%、3位「黒部宇奈月温泉」37.3%、4位「軽井沢」30.8%、5位「長野」22.2%で、「金沢」を挙げる割合が群を抜いて高い。
- なお富山県の場合、「富山」と「黒部宇奈月温泉」を挙げる割合がほぼ拮抗しており、富山県にとり、黒部溪谷や宇奈月温泉は、県庁所在地に匹敵するインパクトを持ったエリアである事を伺わせる結果となっている。



9. 出向いた事のある、都内なる北陸3県のアンテナショップー複数回答ー

- 出向いた事のある都内にある北陸3県のアンテナショップの割合を見ると、「富山県」と「石川県」が9.4%、「福井県」が3.9%で、「富山県」「石川県」は「福井県」に比べ利用率こそ高いものの、その割合はいずれも1割に満たず、一方「どれもない」が83.9%と圧倒的に高い事から考え、首都圏在住層のアンテナショップへの来客促進が、北陸3県にとってもう一方の大きな課題であろう事を伺わせる結果となっている。



■ 関連提案企画

本レポートは単純集計結果をレポートしたのですが、関連で、追加集計レポートや新たな調査企画などを提案させて頂いておりますので、合わせてご検討下さい。

1. クロス集計を交えた分析レポート
2. 北陸新幹線開業に伴う観光調査」の第二弾（追跡調査）
3. アンテナショップの利用促進の条件を探る調査

なお提案の詳細は、別紙「北陸観光プロモーションのための調査提案」をご覧ください

本件に関するお問い合わせは下記まで。

株式会社シーエヌエス
www.cns-tokyo.co.jp
東京都港区赤坂2-4-1白亜ビル6F
TEL03-6277-6175
FAX03-6277-6176
取締役会長 山岸 格
Yamagishi@cns-tokyo.co.jp